

活性化モデル商店街の概要

商店街名：刈谷市刈谷駅前商店街振興組合

●キャッチフレーズ

みんなでまち興し！！ ～地域と取り組む「安心・安全・おしゃれ」なまちづくり～

◎商店街の将来ビジョン

【現状】

トヨタ系企業の誘致により近代産業都市としての足がかりを得るとともに、刈谷駅周辺の商業地は企業社員の消費需要に支えられ、活気を呈してきた。

【課題】

中心市街地としての成熟度では未完な部分が見てとれる。それらは、まちの景観やにぎわいの健全性、ホスピタリティ、ブランド性など、まちの「質」的な転換・向上を必要とする。

【対策】

質的転換・向上を図る施策として、主な内容は以下の通りである。

- ・ まち並み景観の向上（おしゃれなまち）
- ・ 健全なにぎわいづくり（安心・安全）
- ・ ホスピタリティの向上（おもてなしの心）
- ・ ブランド性の向上（グルメに特化、歴史のまち）
- ・ まちづくり推進体制の強化

◎具体的に取組む事業内容

○まちづくり構想 2020 実施事業（28 年度～32 年度）

「まちづくり構想 2020」に基づく事業の実施、2021 年以降の街づくりの方向性の検討等

○おもてなし商店街推進事業（28 年度）

シェイクハンドステッカー掲示店のマップを作成する。

○情報誌「あくあ」発行事業（28 年度～32 年度）

○産・学・官連携強化事業（28 年度～32 年度）

愛知教育大学や、他大学と連携し、学生によるイベントの開催等

○コミュニティ醸成事業（28 年度～32 年度）

テーマを持ったカリアンゼミの実施等

○刈谷駅北口広場花と緑の創出事業（29 年度～32 年度）

地域と連携し、店舗前、住宅前に花を飾るおもてなし事業の実施等

○カリアンナイト 20 回記念事業（30 年度、32 年度）

○刈谷駅周辺連絡協議会との連携事業（32 年度）